

計画の名称	御嵩町公共下水道(防災・安全)			
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	御嵩町	
計画の目標	下水道整備をおこない、住民の生活環境の向上と公共用水域の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。			
計画の成果目標(定量的指標)	①汚水管渠の長寿命化対策率を0%(H24当初)から77.2%(H28末)に増加させる。 ②雨水幹線整備による都市浸水対策達成率を2.1%(H24当初)から4.1%(H28末)に増加させる。			
定量的指標の定義及び算定式	①長寿命化工事の実施率(汚水管渠) 管渠改築対策工事 対策実施延長(m) / 対策計画総延長(m) ②雨水幹線整備による都市浸水対策達成率 長岡排水区設計・施工、新町第一排水区設計・施工及び中第一排水区設計・施工 対策実施面積(ha) / 対策計画総面積(ha)			
		定量的指標の現況値及び目標値		備考
		当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)
		0.0%	26.4%	77.2%
		2.1%	2.9%	4.1%
全体事業費	合計 (A+B+C)	603.5百万円 499.7百万円	A	593.6百万円 478.9百万円
			B	-
			C	9.9百万円 20.8百万円
				効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
				1.6% 4.2%

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	平成29年6月
御嵩町建設部上下水道課及び建設課において評価を実施	公表の方法
	御嵩町ホームページにより公開

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考
										H24	H25	H26	H27	H28			
A1-1-7	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	汚水	長寿命化計画策定業務(長寿命化)	点検、調査計画策定 点検、調査計画策定	御嵩町						7.7 7.7	-	
A1-1-8	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	汚水	管渠改築工事(長寿命化)	φ250mm L=1,800m φ150~250mm L=3,226m	御嵩町						341.0 240.2	策定済	
A1-1-9	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	雨水	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 一式 調査検討資料作成 一式 (公共下水道事業計画変更)	御嵩町						48.9 3.0	-	
A1-1-10	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	雨水	長岡排水区設計・施工	L=460m A=23ha L=488m A=24.1ha	御嵩町						178.0 204.6	-	
A1-1-11	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	雨水	新町第一排水区設計・施工	L=82m A=13.3ha L=83m A=13.3ha	御嵩町						6.0 12.5	-	
A1-1-12	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	雨水	中第一排水区設計・施工	L=732m A=25.8ha L=775m A=25.8ha	御嵩町						12.0 10.9	-	
合計											593.6 478.9						

C 効果促進事業																
C1 下水道効果促進事業(御嵩処理区)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
C1-1-2	下水道	一般	御嵩町	直接	御嵩町	改築(工事)	管渠改築工事(長寿命化)	φ200~600mm L=1,800m φ150~250mm L=3,226m	御嵩町						9.9 20.8	
合計											9.9 20.8					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C1-1-2	汚水管渠施設の経年による機能劣化が進んでいる区域における施設(HP・CP管)について、計画的な管渠改築により今後の維持管理コストの最小化及び平準化並びに機能保持を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・大庭台団地の汚水管渠改築をおこなった結果、不明流入水(雨水・地下水)が減り、道路インフラへの影響被害の軽減が図れた。また、汚水処理場(各務原浄化センター)に係る汚水処理費が削減された。 ・長岡雨水幹線の整備をおこなった結果、大雨が降った場合でも浸水することがなくなり、公共用水域の安全・安心につながり、快適な暮らしを実現した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①(汚水管渠の長寿命化工事の実施率の増加)	最終目標値	77.2%	管渠改築の緊急度Ⅱの路線(簡易な対応により必要な措置を5年未満まで延長できる路線)の中でも、劣化度などが軽度な路線については他事業との調整により管渠改築を先送りすることとなり、長寿命化計画における目標(緊急度Ⅰ及びⅡの路線すべてにおいて対策を実施する)どおりに進めることができなかったため。 H28末目標 3,415m/4,422m (対策実施延長/対策計画総延長) H28末実績 3,226m/4,422m (対策実施延長/対策計画総延長) ※緊急度Ⅰ(速やかに措置が必要)…100%実施済み(H26末)、緊急度Ⅱ…96%実施済み(H28末)。
		最終実績値	73.0%	
	指標②(雨水幹線整備による都市浸水対策達成率の増加)	最終目標値	4.1%	
		最終実績値	4.4%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	・町内で数少ない有床施設の病院が長岡雨水幹線と並行する町道御嵩12号線沿線にあり、以前は狭小な道路であったが、雨水幹線整備に合わせて舗装整備したことにより、通過交通が容易になった。			

3. 特記事項(今後の方針等)

・施設の計画的な改築更新を進めていくための点検・調査をおこない、下水道ストックマネジメント計画を策定し、計画的な改築更新を進めていく。
---